

【第 22 回アジアジュニア新体操選手権大会 2 日目】

5 月 24 日 個人予選・後半種目（クラブ・リボン）

【個人：大塚月愛】

《クラブ》得点：21.50（DB 4.50/DA 2.30/A 7.35/E 7.35）

昨日のフープはスタートでミスがあったが、今日はスタートから表情も良く、エネルギー溢れる演技を見せた。パンシェターンは 2 回転となってしまったが、その後の R を決めたところから勢いをつけ、パンシェバランスや連続ジャンプでは彼女の持つ伸びやかさを十分に発揮することができた。後半の DA でわずかに乱れがあったことで、次の R の投げが不安定となり、2 つ目の R はノーカウントとなってしまったが、最後まで諦めずに判断をし、踊り切ることができた。しかし、DA が 2.3 とやり切れていないものも多くあるため、決勝に向けては、動きの伸びやかさを最大限に見せつつ、DB・DA の精度をもうひとつ上げていけるよう取り組んでほしい。

【個人：五十嵐杏】

《リボン》得点：21.75（DB4.30 /DA2.90 /A7.25/E7.35/Pen0.05）

スタートの 3 回前転の R を決め、前半は動きの伸びやかさが見える演技であった。いくつかリボンが体に近くなってしまった箇所があったが、演技の流れを止めずに落ち着いて対処することができていた。昨日のボールよりも DB をきちんと見せようという意識が見えたが、その分丁寧になり過ぎた印象もあり、後半は少し動きが小さくなり、3 つ目の R は真上に上がったことで回転不足となってしまった。

試合 2 日目となり、会場の雰囲気にも少しずつ慣れてきている様子もあるため、明日の決勝では DB を見せ切ることはもちろん、全身を大きく使い、エネルギー溢れる演技を期待したい。

【団体：イオン】団体総合 3 位

《リボン 5》得点：17.100（DB2.20/DA3.40/A5.95/E5.55）

出場選手：山下紗良・高田晴香・安達莉愛・池田美玲矢・池田香心

昨日のミス、反省をいかせるよう臨んだ 2 日目だった。演技としては R、CR、CC の 3 箇所スティックには触れていたもの弾く形で取り損ね、落下。1 つ目の交換では投げが真上に上がってしまい取りに行くも間に合わず、落下と計 4 箇所の落下ミスがあり、決めきれない悔しさの残る内容だった。交換以外のミスに関しては全て焦りからくる雑な対処が原因だった。演技後半は緊張が強い中でも粘り強さも見える部分もあった。

結果としては他国チームのミスも相次ぎ、団体総合 3 位で終了したが、明日明後日の種目

別決勝で演技が踊れることの感謝の気持ちを忘れずに技術力、精神力ともに緊張に負けず強くやりきれよう努めたい。

明日は、種目別決勝の個人競技（フープ・ボール）、団体競技（ボール5）が行われる。2日間の経験や学びを活かし、最大限のベストを尽くしてくれることを期待したい。